

「第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」の講演原稿募集

◆開催期日：平成 28 年 11 月 24 日(木), 25 日(金)◆

◆申込締切日：平成 28 年 5 月 27 日(金)◆

複合構造は、鋼やコンクリートのみでなく、様々な性能を有する新しい材料の適用によって、さらに発展する可能性を秘めています。中でも FRP は軽量・高強度・高耐食性などの特長を有することから、新材料の代表的なものとして、構造用途への有効活用が期待されています。

FRP あるいは FRP と鋼・コンクリートとの複合構造に注目したシンポジウムは、土木学会においてこれまで 5 回開催されてきました。第 1 回（2001 年 1 月）および第 2 回（2006 年 1 月）のシンポジウムは、対象を主として橋梁用途に絞った「FRP 橋梁に関するシンポジウム」として、構造工学委員会により実施されました。第 3 回シンポジウム（2009 年 7 月）は橋梁に限らず、土木構造物全般に範囲を広げた「FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」として、複合構造委員会の主催により実施されました。そして、第 4 回（2012 年 11 月）より 2 年に 1 度の定期開催となっております。

上記のようなこれまでの経緯を受けて、このたび、「第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」を下記のとおり開催いたします。以下の要領で、講演原稿を募集致しますので、奮って投稿下さいますようお願い致します。

記

1. 主 催：土木学会(複合構造委員会)
2. 後 援：日本建築学会，日本材料学会，日本複合材料学会，強化プラスチック協会
くすべて予定>
3. 開催期日：2016 年 11 月 24 日(木), 25 日(金)の 2 日間
4. 会 場：名古屋大学 野依記念学術交流館
5. 募集要領：
 - (1) 講演原稿募集の内容：

FRP を用いた橋梁およびその他の土木・建築構造物，FRP とその他の材料との複合構造物，FRP を用いた補修・補強による複合構造システム。これらの，設計，解析，応用，材料物性，維持管理，施工，製造，試験，評価，適用性，ライフサイクルコスト，環境負荷特性，実大試験，施工事例，基準類，安全性，耐火性，など。（ただし必ずしもこれらに限定しない）
 - (2) 申込締切日：

2016 年 5 月 27 日（金）
 - (3) 申込方法：

専用ページから登録下さい。<http://committees.jsce.or.jp/fukugou04/node/9>

ただし，講演の採否は，題目，応募原稿数，発表時間などを考慮して，複合構造委員会にて判断いたします。採否結果を 6 月中旬までに E-mail にて連絡いたします。なお，採択された場合は，必ず講演原稿を投稿し，シンポジウム当日，発表して頂きます。発表に際しては，シンポジウムへの参加費が必要となります。参加費は原稿 1 編ごとに，土木学会正会員 8,000 円，後援団体会員 8,000 円，非会員 12,000 円，学生 4,000 円（CD 講演概要集代 3,000 円を含む）程度を予定しています。
 - (4) 問合先：

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内
土木学会 研究事業課 複合構造委員会

担当：久米村秀明 (E-mail：kumemura@jsce.or.jp)

TEL：(03)3355-3559, FAX：(03)5379-0125

(5) 講演概要集：

CD 講演概要集を作成致しますので，採択の際は，講演原稿（A4 用紙で 8 ページを標準とする）の執筆を依頼いたします．

(6) 投稿締切日：

2016 年 8 月 31 日(水)

6. その他：

(1) 参加申込について：

参加費などシンポジウムへの参加申込の詳細は，9 月号の土木学会誌に掲載予定です．

(2) 表彰制度について：

土木学会複合構造委員会では，40 歳未満の講演者を対象として，研究内容に加えて講演内容が優れている場合に，表彰する制度を設けています．受賞者は，後日，複合構造委員会のホームページに氏名を発表するとともに，表彰状を送付します．

(3) 土木学会論文集特集号について：

土木学会複合構造委員会では土木学会論文集 A1 特集号（複合構造論文集）を 1 年に 1 回定期発刊しております．現在，第 2 号まで発刊されており，第 3 号が 2016（平成 28）年 5 月に発刊予定です．「第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」における特に優れた講演の中から，討議等によりさらに内容が充実した論文を投稿していただき，査読を経た論文は 2017（平成 29）年 5 月発刊予定の第 4 号に掲載されます．投稿要項などの詳細は，今後，複合構造委員会のホームページ（<http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/>）上に随時公開いたします．シンポジウムでの講演内容をさらに多くの方々に対して情報提供できますので，ぜひこの機会をご利用下さい．

以上